

# 滋賀県の教育施策の基本的な方針と2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿等について

教育改革・ICT推進対策特別委員会資料  
令和3年(2021年)6月22日  
議 会 事 務 局

滋賀の教育大綱(第3期滋賀県教育振興基本計画)(平成31年3月)2019年度から2023年度までの5年間

**基本目標** 未来を拓く心豊かでたくましい人づくり

**サブテーマ**

人生100年を見据えた「共に生きる」滋賀の教育

3つの柱により、教育施策を総合的に推進

柱1

子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育む

柱2

社会全体で支え合い、子どもを育む

柱3

すべての人が学び続け、ともに生きるための生涯学習を振興する

中央教育審議会答申(令和3年1月)

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

(1) 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

- ・ 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

新学習指導要領の  
着実な実施

ICTの活用

一人ひとりの児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

(2) 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現

個別最適な学び

指導の個別化 → 一定の目標をすべての子どもが達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める  
学習の個別化 → 異なる目標に向けて、学習を深め、広げる

一体的に充実

協働的な学び

子ども一人ひとりのよい点や可能性を生かし、子ども同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働する → 異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す

「主体的・対話的で深い学び」の実現

(3) 「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用

【基本的な考え方】

- ✓ 学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なもの
- ✓ これまでの実践とICTとを最適に組み合わせしていく

「Society5.0時代にふさわしい学校の実現」

- 学校教育の様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげる
- PDCAサイクルを意識し、効果検証・分析を適切に行う
- ICTを活用すること自体が目的化してしまわないよう留意

## 教育におけるICTの活用に関する論点の整理

【学校教育の質の向上に向けたICTの活用】

- ICTの日常的な活用による授業改善
  - ・ ICTを活用した読み解く力育成
  - ・ これまでできなかった学習活動の実施
  - ・ 児童生徒自身がICTを自由な発想で活用するための環境整備・授業デザイン
  - ・ ICT活用と少人数学級による個別最適な学びと協働的な学びの実現
  - ・ 海外との交流事業への活用
  - ・ デジタルとアナログを融合した学び
- 児童生徒の特性に応じたきめ細かな対応
  - ・ 不登校や病気療養等特別な支援が必要な児童生徒に対するきめ細かな支援
  - ・ 個々の才能を伸ばすための高度な学びの機会の提供等
  - ・ 障害のある児童生徒の学習環境の充実
  - ・ キャリア教育への進展
- 学習履歴(スタディ・ログ)など教育データを活用した個別最適な学びの充実
  - ・ 教育データを適切に活用した資質・能力の育成
  - ・ 進学に伴う学習記録の活用
- 学力調査のCBT化に対する対応の検討
- 対面指導と遠隔授業を融合した授業づくり
  - ・ 家庭等学校外での学びの充実
- 高等学校における遠隔教育の活用

相互作用

【ICTの活用に向けた教員の資質・能力の向上】

- 教員が必要な資質・能力を身に付けられる環境の実現
- ICT活用指導力の養成やデータリテラシーの向上に向けた教育の充実
- ICTを効果的に活用した指導ノウハウの迅速な収集・分析
  - ・ 実践事例の蓄積、その成果をガイドブック等で広く教員に周知
- 研修の充実等による現職教員のICT活用指導力の向上
  - ・ 教員のICTを活用した学習指導の力量の差への対応
  - ・ 教員が学ぶためのOJT
  - ・ オンラインによる研修
- 授業改善に取り組む教員のネットワーク化

【ICT環境整備の在り方】

○ハード整備面

- ・ 高速大容量ネットワークの整備
- ・ 必要なセキュリティ対策を講じた上でクラウドの活用を促進
- ・ 環境整備の加速化、情報セキュリティの確保、ローカル5Gの活用
- ・ デジタル教科書・教材等の普及促進
- ・ 端末整備の負担の在り方、家庭における通信環境、教員の端末整備

○ソフト面

- ・ 教育データを蓄積・分析・利活用できる環境整備
- ・ ICT人材の確保(補助事業等情報の共有、活用の働きかけ)
- ・ ICTによる校務効率化
- ・ 統合型校務支援システムを活用した児童生徒情報の一元管理や帳票の標準化
- ・ ソフト等の障害への対応

【その他】

- ・ 市町との連携によるICT活用の推進
- ・ 健康面への影響の把握

- ・ 他の部局とも連携したICTを活用する取組